

平成22年度上半期のご報告

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)



足利小山信用金庫

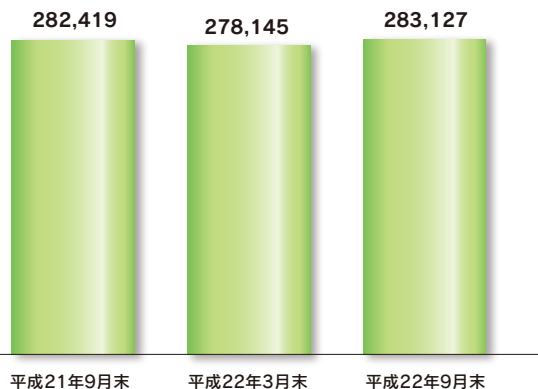
平成22年度上半期業績のご報告

預金・貸出金

地域のお客さまのニーズにお応えするために「ゆとり定期預金」の期限延長や「サマーキャンペーン」などを実施した結果、預金積金残高は前年度末比49億81百万円増加の2,831億27百万円となりました。貸出金残高は、中小企業の資金需要の低迷から伸び悩み、前年度末比20億92百万円減少の1,336億32百万円となりました。

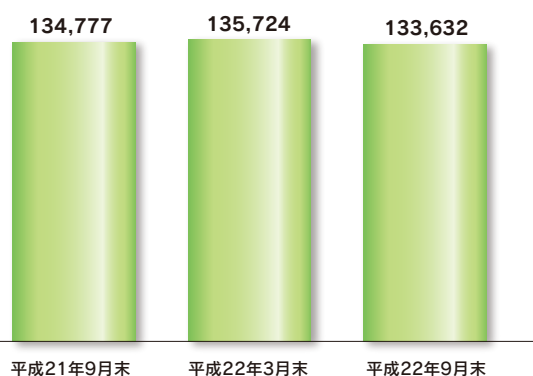
預金積金残高

(単位:百万円)



貸出金残高

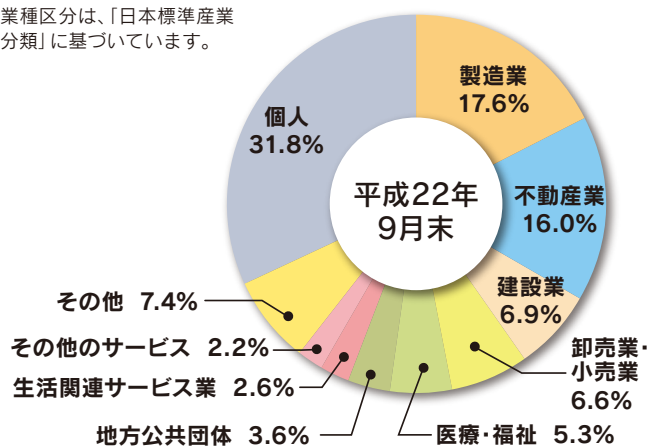
(単位:百万円)



貸出金業種別内訳

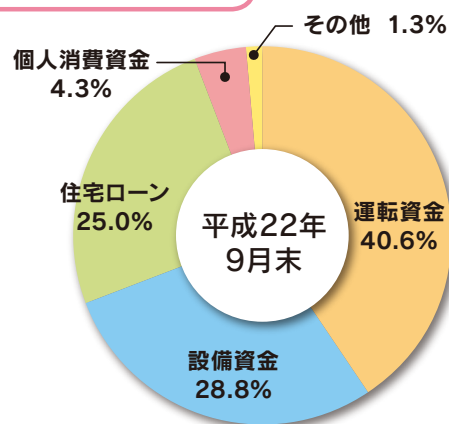
(単位:%)

業種区分は、「日本標準産業分類」に基づいています。



貸出金使途別内訳

(単位:%)



損益の状況

平成22年9月期の業務純益は4億22百万円、経常利益は1億43百万円、当期純利益は1億90百万円となり安定した収益を確保することができました。

(単位:百万円)

	平成21年度		平成22年9月期 (半期)
	平成21年9月期 (半期)	平成22年3月期 (通期)	
業務純益	348	837	422
経常利益	224	243	143
当期純利益	292	255	190

(注) 平成21年9月期および平成22年9月期は4月から9月までの6カ月の計数です。

有価証券

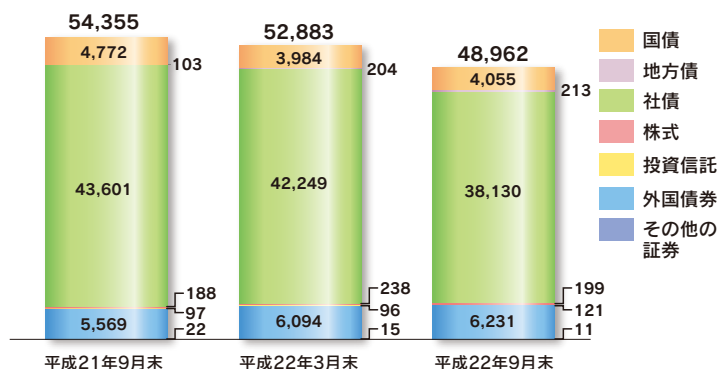
当金庫はお客さまからお預かりした預金をご融資による運用のほか、信金中央金庫等への預け金や有価証券によって運用しています。

有価証券は、安全性と流動性を念頭に置き、各種リスクに十分配慮したうえで、安定的な収益を確保するため、債券を中心とした運用を行っています。

有価証券残高については、市場金利と比べ有利である預け金での運用を増加させたため、前年度末比39億20百万円減少し489億62百万円となりました。

有価証券種類別残高

(単位:百万円)



有価証券の時価情報

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成22年3月末					平成22年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
国債	199	209	9	9	—	199	212	12	12	—
外国債券	3,902	3,509	△ 392	3	396	3,901	3,554	△ 347	5	353
合計	4,101	3,718	△ 383	13	396	4,101	3,766	△ 335	17	353

その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成22年3月末					平成22年9月末				
	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損
株式(上場)	180	194	13	15	1	172	155	△ 17	2	20
国内債券	45,761	46,238	477	525	48	41,627	42,198	571	603	31
国債	3,658	3,784	125	125	—	3,719	3,855	135	135	—
地方債	199	204	4	4	—	199	213	13	13	—
社債	41,902	42,249	346	395	48	37,707	38,130	422	454	31
外国債券	2,303	2,192	△ 110	7	118	2,401	2,329	△ 72	14	86
投資信託	120	96	△ 24	—	24	158	121	△ 37	—	37
合計	48,365	48,721	356	548	192	44,360	44,805	444	621	176

時価のない有価証券の内容と貸借対照表額

(単位:百万円)

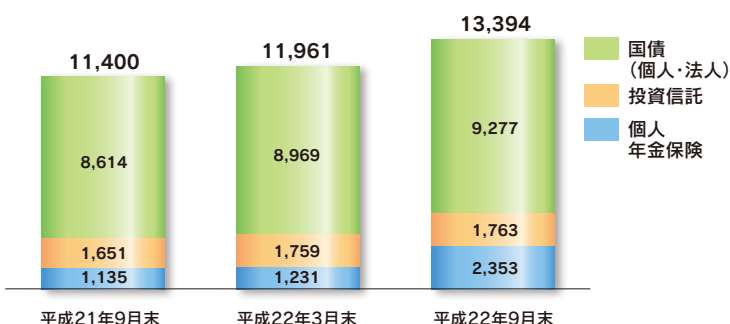
	平成22年3月末	平成22年9月末
その他有価証券	59	55
非上場株式	43	44
その他の証券	15	11

預かり資産

運用環境が悪化する中、預かり資産残高は個人年金保険を中心に積極的に取り組んだ結果、前年度末比14億33百万円増加し133億94百万円となりました。

預かり資産種類別残高

(単位:百万円)



健全性

自己資本比率は9.14%と十分な健全性・安全性を示しています

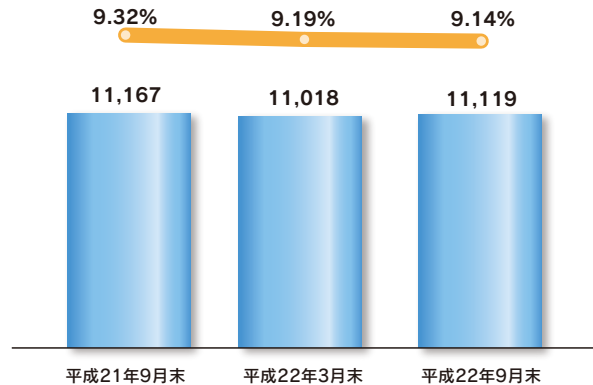
自己資本比率はリスクが発生する可能性のある資産（リスクアセット等）に対する自己資本の額の比率であり、金融機関の健全性や安全性を計る重要な指標のひとつです。

自己資本比率は前年度末比0.05ポイント低下し9.14%となりましたが、国内基準の4%を大きく上回っています。

また、自己資本額は前年度末より1億1百万円増加し111億19百万円となりました。

自己資本比率と自己資本額

(単位:百万円)



自己資本の構成

(単位:百万円)

	平成22年3月末	平成22年9月末
基本的項目 (Tier 1) の額	10,230	10,420
自己資本の額 (Tier 1 + 補完的項目 - 控除項目)	11,018	11,119
リスクアセット (資産ごとのリスクの大きさに応じて0%から100%までの掛け目をかけた合計)	119,858	121,547
総所要自己資本額 (リスクアセット×4%)	4,794	4,861
自己資本比率 (自己資本の額÷リスクアセット)	9.19%	9.14%
基本的項目比率 (Tier 1÷リスクアセット)	8.53%	8.57%

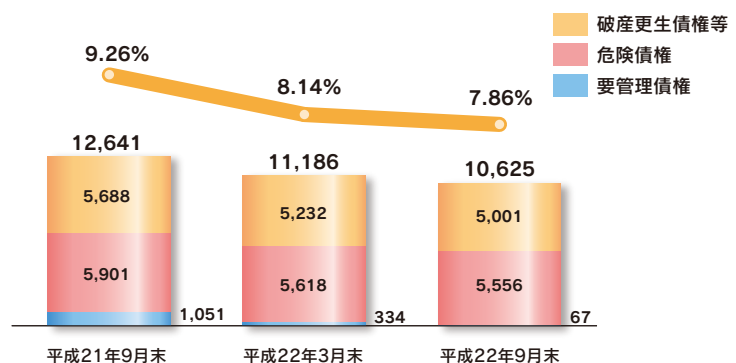
不良債権比率は7.86%と改善しています (金融再生法ベースの債権区分による開示)

当金庫は、資産の健全化を図るため、前年度に引き続き貸出先の実態を踏まえた適正かつ厳格な自己査定を実施し、不良債権の償却・引当を行うとともに、不良債権の新規発生防止に積極的に取り組んでいます。平成22年9月末の金融再生法開示債権額は前年度比5億60百万円減少し106億25百万円となりました。

また、不良債権比率は前期末比0.28ポイント改善し7.86%となりました。

不良債権比率と不良債権額

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	平成22年3月末	平成22年9月末
金融再生法上の不良債権	11,186	10,625
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,232	5,001
危険債権	5,618	5,556
要管理債権	334	67
正常債権	126,097	124,419
合計	137,283	135,045

平成22年度上半期トピックス

当金庫は、地域社会への貢献活動、当金庫をご利用されるお客さまの満足度の向上を図る活動、セミナーと相談会など、さまざまな活動を展開しています。

4月

- 年金友の会が静岡方面（焼津黒潮温泉）への旅行を催行、足利地区262名、小山地区147名が参加。
- 渡良瀬川クリーン活動に当金庫職員140名が参加。



- 信金の日のクリーン活動に当金庫職員315名が参加。



5月

- 「資産運用セミナー」を開催、お客さま43名が参加。



- 栃木県信用金庫野球大会で準優勝。

7月

- テラー講座に、窓口対応スキルおよびCS向上を目的に当金庫4名が参加。
- 顧客対応が向上することを目的とした研修に窓口担当者が26名参加。

9月

- 栃木県信用金庫卓球大会に出場。

その他

- 年金相談会を当上半期に33回開催、181名が来店。
- 城東支店の窓口をリニューアル

城東支店では、個人のお客さまへの各種ローンおよび条件変更の相談・受付を充実させるためカウンターをリニューアルし、相談窓口を一新しました。



6月

- 信金の日（毎年6月15日）の献血に当金庫職員53名が参加。

金融円滑化への取り組み

当金庫では、厳しい経営環境が続く中、経営改善支援を必要とするお客さまも増加していることから、平成22年6月より本部担当部署に担当者を1名増員し、営業店に対する指導や支援を強化しました。

なお、平成21年12月4日から平成22年9月末までの対応状況は以下のとおりとなりました。

貸付条件の変更等の申込みに対する対応状況（平成22年9月末までの対応状況）

（単位：件、百万円）

	申込		実行		謝絶		審査中		取下げ	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
中小企業者のお客さま向けの貸付債権	967	13,200	838	12,043	53	417	48	499	28	241
住宅資金お借入のお客さま向けの貸付債権	71	754	50	545	2	17	5	58	14	134

上半期の新品

「カーライフプラン・エコ」

9月6日から、エコカー購入および付帯費用・税金等を資金使途とする「カーライフプラン・エコ」の取り扱いを開始しました。通常の「カーライフプラン」に比べ割安の保証料でご利用いただけます。

(取扱期間：平成22年9月6日～平成24年3月30日)



終身保険「MS終身α」

10月1日から三井住友海上きらめき生命保険の終身保険「MS終身α」の取り扱いを開始しました。

平準払型で、将来の公的年金への不安を抱える方などを対象とし、セカンドライフのニーズに合わせ保障内容の変更も可能な終身保険です。



年金友の会会員向け傷害保険「シニアクラブ」

10月1日から年金友の会の特典である会員向け傷害保険「シニアクラブ」の取り扱いを開始しました。高齢者向けの傷害保険で、さまざまな事故によるケガを補償します。



しんきん経営塾ビジネスサービス

インターネットを活用した「塾生同士の交流」や「経営支援」に注力した「しんきん経営塾ビジネスサービス」の取り扱いを行っています。経営塾への申込については随時募集しています。(9月末現在の塾生58名)



金融経済教育

6月9日、足利市立梁田小学校の夏祭り集会に当金庫梁田小出張所を出店しました。子どもの頃からお金のお金との上手な付き合い方などを知ってもらうことを目的に、お金に関するクイズや模擬店での売上金の受領などを行い、児童にお金の流れを体験してもらいました。



概要

本店所在地 〒326-0811 足利市井草町2407-1
 出資金 10億75百万円
 会員数 26,700名
 常勤役員数 357名
 店舗数 26本支店5出張所(うち共同出張所2)

お問い合わせ先
 足利小山信用金庫 経営企画部
 TEL: 0284-21-8100 FAX: 0284-21-0576
<http://www.ashikagaoyamashinkin.co.jp/>

本資料に掲載されている平成21年9月期(末)および平成22年9月期(末)の計数につきましては、仮決算のため会計監査法人の監査を受けておりません。また、掲載している比率・金額は単位未満を切り捨てて表示しています。



本誌は、FSC認証紙を使用し、環境に配慮した植物油インキを使用しています。